

# センターだより

第5号

令和2(2020)年12月23日発行  
吹田市立教育センター  
大阪府吹田市出口町2-1  
TEL 06-6388-1455  
FAX 06-6337-5412  
メール s-educ@city.suita.osaka.jp

繋ぐ→支える→発信・リードする教育センター

## よりよい“学校風土”を醸成する！ 『いじめ予防授業』を全小・中学校で実施しました！

今年度より、『いじめが起こりにくい学校づくり』を目的とした「いじめ予防推進事業」を全小・中学校にて実施しています。本事業は、「教職員研修」「子どものための学校調査(学校風土・いじめ調査)」「いじめ予防授業」を1つのパッケージとして実施し、専門的知見を持った研究機関である「(公益社団法人)子どもの発達科学研究所」と連携して進めています。

今回は、これらの取組の中でも、吹田市の全児童・生徒を対象として実施した「いじめ予防授業」について紹介します。(右の写真は、実際に使っているワークブックです。小学校低・中・高学年、中学校用の4種類があります。)



「いじめ予防授業」は、科学的なエビデンスに基づく3回の授業となっており、3つのCHANGEをテーマにしています。

- 1st CHANGE 間違った知識や思い込みが正しい知識に変わる
- 2nd CHANGE 行動が変わる
- 3rd CHANGE すべての人によって居心地の良い集団へ変わる

まず、1時間目の「1st CHANGE」では、いじめ防止対策推進法に触れながら、いじめについての正しい知識を身に付け、法律によって禁止されていることを確認します。そして、いじめが深刻化するキーワードとして【アンバランスパワー(力や学力、社会性の差)】と【シンキングエラー(間違った考え)】について全員で共通認識を持ちます。

次に、2時間目の「2nd CHANGE」では、いじめ被害を受けたとき、またいじめを目撃した時にどのような行動をとれば良いかを【や・は・た行動】という言葉とともに確認することで行動の変容を図ります。【や・は・た行動】とは、右記の3つのキーワードの頭文字であり、避難訓練の際の「お・は・し・も」のように子供たちの中に浸透させていきます。

「や」 やめて、と言う  
「は」 その場を離れる  
「た」 周りの大人に助けを求める

そして、3時間目の「3rd CHANGE」では、いじめの起こりにくい集団(学級)をつくるための具体的な行動として【HERO行動】を知り、これからの実践に繋げていきます。【HERO行動】とは、「H」「E」「R」「O」の4つの言葉の頭文字であり、それぞれに以下のような意味が込められています。

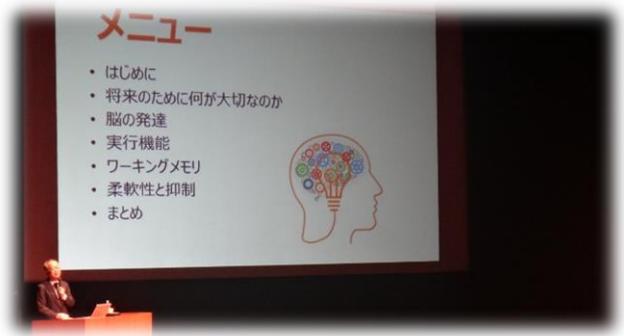
「H」	Help	ヒーローは、友だちを助ける勇気、助けを求める勇気を持つ
「E」	Empathy	ヒーローは、弱者の気持ちに共感する
「R」	Respect	ヒーローは、どんな相手も尊重する
「O」	Open-mind	ヒーローは、心を開き、みんなを受け入れる

この「いじめ予防授業」は、吹田の子供たちが正しい知識と行動を知り、よりよい“学校風土”を築くことができるよう、『すいたGRE・ENスクールプロジェクト』の一環として、今後も長期的に実施していきます。

# 令和2年度保護者講演会 『脳の発達から考える子育て』を実施しました

11月27日(金)にメイシアター大ホールにて、保護者講演会を実施しました。今年度は、「いじめ予防推進事業」でも連携している(公益社団法人)子どもの発達科学研究所の主席研究員 和久田 学 先生に御越しいただき、『脳の発達から考える子育て』と題し、御講演をいただきました。

子育てについて、脳科学の知見から「非認知スキル」や「脳の発達」「実行機能とワーキングメモリ」等普段聞くことのできない内容が盛りだくさんの2時間となり、参加された保護者の皆様からも大変好評いただきました。



## 【保護者アンケートより(一部抜粋)】

- ・発達に障害のある子が生きていく為に必要なことを教えて頂きました。
- ・科学と聞くと「難しい…」と思っていましたが、感情だけの子育てに限界や迷いを感じていたもので、とてもスッキリしました。
- ・小さい子だけでなく、小学生にも言葉の声かけ、気持ちの代弁が必要なことがよくわかりました。
- ・私も我が子が思春期を迎える頃には、脳の仕組みを伝えて、「自分だけじゃないんだ」と納得させてあげようと思いました。

(公益社団法人)子どもの発達科学研究所 HPのQRコード ⇒  
メルマガや講義動画もあるのでぜひご覧ください。



## 告知

「ほめ言葉のシャワー」「成長ノート」「白い黒板」・・・。  
コミュニケーション力あふれる教育をめざして全国で活躍されている、  
**菊池道場 主宰 菊池 省三 先生が吹田市にやってきます!!**

実施予定日 令和3年2月22日 午後 会場 メイシアター 中ホール

講演 菊池道場 主宰 菊池 省三 先生 【研修場号 402】

(予定講演内容) 考えつづける人間を育てる

コミュニケーションあふれる「集団」 その他



↑  
菊池省三オフィシャルWEB サイト

主な著書 「菊池省三流 奇跡の学級づくり」(小学館) 「授業がうまい教師のコミュニケーション術」(学陽書房)  
「学級崩壊立て直し請負人」(新潮社) 「菊池先生のことばシャワーの奇跡」(講談社) など多数

メディア出演 NHK人気番組【プロフェッショナル 仕事の流儀】 テレビ東京「たけしのニッポンのミカタ」  
日本テレビ「NEWS ZERO」「世界一受けたい授業」など

★研修の詳細が決定次第、各学校に実施要項、申込方法等について通知します。

# 委嘱研究学校の研究紹介

## 吹田市立第三中学校

### 研究テーマ「多様な方法を取り入れた道徳科の工夫」

#### ～道徳教育におけるPDCAサイクルについて考える～

第三中学校では、今年度は中止になった「大阪府中学校道徳教育研究発表会」に向けての取組を活かしながら、全クラスで道徳科の授業公開を実施しました。協議会では、講師として京都産業大学 柴原弘志教授をお招きし、授業に対する御講評及び「『特別の教科 道徳』における質の高い学習指導と評価」と題して御講演もいただき、内容の濃い研修会となりました。

#### ○全クラス公開授業～リレー道徳の取組～

2年生は、「いじめ」をテーマに、3つの教材を3クラスの先生方が授業を行いました。

1組 「ちがいの意味を見直す」

C(12)「社会参画,公共の精神」

2組 「いじめ」と「いじり」

C(11) 公平,公正,社会正義

3組 「明日、みんなて着よう」

C(11) 公平,公正,社会正義



授業後、各授業者が実践を振り返り、成果と課題を整理したうえで、次のクラスへ「実践報告書」として引き継ぎ、翌週以降に授業を行います。第三中学校は学年3クラスですので、3週間で3教材を「バトンパス」するPDCAサイクルを実践されました。「ローテーション道徳」は、教師が一つの教材を担当して各クラスを回る手法として広く実践されていますが、「リレー道徳」は、担任が道徳科の授業を行うよさを活かせることがポイントです。また、3年生は「つながる命」をテーマに設定していましたが、1年生はテーマで括らず行っていました。年間指導計画を大きく変えることなく、授業実践と教材研究を学年単位で行う手法として効果的ではないかと思えます。

また、班ごとのホワイトボード、立場を表明するための赤・青カードといった教具を活用し、発表という形に限らず、生徒が考え、思いを可視化できる場面を設定する授業展開を工夫されていました。

#### ○指導助言及び講演（講師 京都産業大学 教授 柴原 弘志 先生）

後半の柴原先生による講演では、授業者の先生方が生徒との対話を楽しみながら授業を行っていたこと、そして、生徒たちも多面的・多角的に考え、その考えをつぶやく姿がよく見られたとの感想をお話いただきました。

また、学習指導要領解説の読み方、そこから授業づくりにどのようにつなげるかというお話から、今回、第三中学校が取り組んだリレー道徳につながる他府県での実践例についても紹介いただきました。

さらに、「評価」に関しては、「学習指導要領解説から読み取る評価の7つの視点」について、「視点」と「観点」の違い、「特別の教科 道徳」として、他教科の「評価の観点」と区別することになった背景も含めて、わかりやすくお話いただきました。

人数が限られた中でのお話でしたので、参加された先生方は、自校で研修報告を行い、実践に活かしてください。



なお、第三中学校の詳しい取組については、教育研究報告会で発表いただきますので、そちらも今後の取組に活用ください。

# 令和2年12月・令和3年1月の教職員研修予定(法定研修は除く)

講座名		研修番号	研修テーマ・講師名・概要等	会場	日時	対象
基本研修	基礎研修	157	新規採用栄養教諭・臨時技師研修 「栄養教諭の実践に学ぶ～危機管理体制を考える～」 講師：吹田市教育委員会 保健給食室 主査 杉村 知佐子	教育センター 小会議室	1月22日(金) 15時30分 ～17時	新規採用栄養教諭 経験年数の少ない 臨時技師
		404	スーパーティーチャーに学ぶ 「小学校算数科の師範授業と算数・数学科の講演」 講師：関西大学初等部 教諭 尾崎 正彦	オンデマンド準備中		市内教職員
専門研修	教科等研修	424	教科等研修・小学校外国語活動公開授業 「新学習指導要領にともなう英語教育の在り方について」 講師：吹田市立千里第二小学校 教諭 久門 淳子	Web実施 (令和2年11月27日(金) ～令和3年1月8日(金))		市内小学校教職員
		460	特別支援教育研修 「通常学級における学びの多様性をふまえた授業の考え方とその実際」 講師：兵庫教育大学大学院 教授 宇野 宏幸	ゆいぴあ 多目的ホール	1月22日(金) 15時～17時	市内教職員
	領域別研修	464	特別支援教育事例検討研修 「事例検討研修【行動領域】」 講師：大阪市特別支援教育専門家チーム 森田 安徳	岸部市民センター 多目的ホール	1月27日(水) 16時～17時	市内教職員

※法定研修については、各実施要項をご覧ください。

※研修の申込は吹田市立教育センターのホームページにあります「研修申込システム」からお願いします。

**新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、実施方法等が変更になる可能性があります。  
吹田市立教育センターから各校に通知している実施要項・シラバスにて詳細は確認してください。**